

石神井公園

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

2013.11 Vol.11



中華そば	五〇円	カレーうどん	七〇円
ワンタンメン	八〇円	オムライス	八〇円
ラーメン	七〇円	中華丼	七〇円
もやしそば	七〇円	天津丼	九〇円
焼うどん	七〇円	玉子丼	七〇円
牛やーハン	七〇円	親子丼	八〇円
餃子	五〇円	かつ丼	八〇円

写真は常設展示室内、昭和38（1963）年頃の区内の情景を再現したコーナーです。

今は見かけなくなった赤電話、昭和を感じさせる店構えなどを眺め、半世紀前に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

「江戸の食文化」展

会 期：平成26年1月25日(土)～3月16日(日)
 午前9時～午後6時
 会期中一部展示資料の展示替あり

会 場：2階企画展示室

観覧料：一般 300(200)円
 高校生・大学生 200(100)円
 65歳～74歳の方 150円
 中学生以下と75歳以上の方 無料

* ()内は20名以上の団体料金

* 身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方
 1名は一般150円／高校生・大学生100円



江戸前にぎりずし屋台模型
 (株式会社 ミツカン グループ本社蔵)

江戸時代後期、江戸のまちでは、にぎりずし、そば、てんぷらなどの特色ある食文化が発達しました。そして、食を楽しむことが広く普及しました。

江戸の食を支えた食材のうち、野菜類に関しては、鮮度の面などから、江戸近郊の村々から供給されました。「練馬大根」もそうした野菜のひとつです。

本展では、江戸の食文化とそれを支えた「練馬大根」について、和本や浮世絵などから紹介します。

常設展示室

屋敷林模型

常設展示室には、農家の屋敷の四方を樹木で囲んだ屋敷林の模型があります。土地の区画は昭和22(1947)年の航空写真から上石神井にある農家を選び、植生は報告書から石神井台にある農家の屋敷林を手本にして、模型を作りました。

模型は、冬の様子を表しています。屋敷の北西に常緑樹を植え強風を防ぎ、南東に落葉樹を植え日当たりをよくする工夫が見られます(夏には落葉樹も葉が茂り、その木陰で涼しくなります)。屋敷林の周囲では大根干しが始まり、畑では麦が育ち始めております。農作物の肥料は、下肥とともに屋敷林の落ち葉が活用されました。

練馬の農家が屋敷林を工夫して生活していたこと、練馬を代表する農作物が大根と麦であることが、この模型で表現されています。



収 蔵 品 紹 介

尾崎遺跡(春日町)出土の縄文土器 -不安定な土器に開いた穴-

縄文時代の土器の多くは、煮炊きをするための器であり、今でいう鍋として作られました。当館で展示している縄文土器も、多くが煮炊き用の土器です。その中に、底が尖った形をした土器があります。この土器で煮炊きをするときは、地面に穴を掘って土器を突き立て、その周囲で火を焚いたと考えられています。

底部が尖ったり、丸かたたりして不安定な土器は、縄文時代早期(約1万年前)に多く作られました。効率よく熱をとのおす工夫を重ねた結果、この形になったとする意見があります。

ところで、この土器には、穴がふたつ並んで開いています。この穴は補修孔^{ほしゅうこう}とって、土器のひび割れを繕うための穴と考えられています。素焼きの縄文土器は、火にかけられたり、持ち運ばれたりするうちに、どうしても欠けたり、ひび割れたりします。そのひび割れを繕うために、ひびの左右に穴を開け、その穴に紐を通して結び、土器を使い続けました。

土器にひびが入ったときに捨ててしまうのではなく、補修して使い続けるという工夫は、多くの手間と時間をかけて作った土器を、縄文時代の人たちが大切に使用していたことを現在に伝えています。



尾崎遺跡の土器



補修孔

学校教育との連携 - 団体見学 -

当館では学校教育と博物館教育の連携の一つとして、積極的に学校等の団体見学の受け入れを行っています。区立小学校を中心に、中学校、幼稚園や保育園も含め、毎年延べ100件程度の団体見学があります。見学の目的に合わせ、ご覧いただく展示内容や解説などを工夫し、教育や教科の単元目標、保育目標の達成に寄与できるように、当館職員が教員などと事前に打合せを行ったうえで実施しています。

例えば小学校3年生の見学では、「洗濯板」や「かまど」など、昔のくらしで使われていた生活道具について学習し

ます。これらを現在の道具と比較することにより、生活の変化やくらしの工夫を考える機会となるよう、学習内容に合わせた解説を行っています。見学の子どもからは「昔の生活道具に触ることができて良かった」、「洗濯板にも昔の人の工夫があることに驚いた」などの声が聞かれ、楽しみながら学習をしています。

当館は茅葺きの古民家に入ることができ、資料に触れるなどの体験ができる博物館です。学校教育活動や保育活動などご利用を検討してみたいはいかがでしょうか。



催し物のご案内(12月~3月)

2013 12		2014 1	
7日(土) 13時~14時	羊毛で雪だるまをつくろう	4日(土) 13時~	カンタンたこをつくって飛ばそう
13日(金) 13時30分~	古民家でふるさとを歌う会・冬	4日(土)~13日(月・祝)	お正月飾り
14日(土)		5日(日) 13時~	巨大ふくわらい
14日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	11日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう
15日(日) 13時~14時	リードオルガンの音色を聞こう	11日(土)~19日(日)	まゆ玉飾り
21日(土) 13時~14時	ミニしめ飾りをつくろう	12日(日) 14時~	復活する江戸東京野菜
28日(土) 13時~	和紙でつくるポチ袋・箸袋	13日(月・祝) 13時~	抹茶サービス
		18日(土) 13時~14時	カラー墨流しでカードをつくろう
		25日(土) 13時~	万華鏡をつくろう
2014 2		2014 3	
1日(土) 13時~14時	飛び出すしくみでオニのカードをつくろう	1日(土) 13時~14時	かべ掛けひな飾りをつくろう
8日(土) 10時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう	8日(土) 14時~	石神井公園ふるさと文化館を探検しよう(特別探検)
15日(土) 13時~	勾玉をつくろう	15日(土) 11時~14時	いろいろ端で楽しむかみしばい
22日(土) 13時~14時	タイルのコースターをつくろう	21日(金・祝)・23日(日) 30日(日)	春休みイベント
22日(土)~3月4日(火)	ひな飾り	22日(土) 13時~	ずぼんぼをつくってあそぼう
		23日(日) 14時~	練馬の郷土芸能 お囃子を楽しもう
		28日(金) 13時30分~	古民家でふるさとを歌う会・春
		29日(土) 13時~	昔衣装体験

※各催しの募集時期・申込方法・参加費等については、ねりま区報やホームページ等でお知らせします。

ふるさと文化講座 歴史・民俗・自然など、様々なテーマの講演です。事前申込制です。

ふれあい土曜事業 いろいろなものを作ったり、遊んだりします。子供向けの事業ですが大人の方も参加できます。

季節体験事業 歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

お正月事業 お正月にちなんだ様々な催しです。

展覧会

企画展示室 特別展「江戸の食文化」 1月25日(土)~3月16日(日)

※会期・内容等は変更になる場合があります。また、このほか常設展示解説会等も行っています。詳細については、ねりま区報、ホームページ等をご覧ください。

利用のご案内

開館時間 午前9時~午後6時(会議室の利用は、午前9時~午後9時30分)

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その直後の祝休日でない日)
年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日

入館無料 ※特別展観覧料は有料

交通案内(平成25年11月現在)

- ・西武池袋線「石神井公園駅」下車徒歩15分
- ・西武新宿線「上井草駅」下車徒歩20分
- ・西武バス(荻14)「JA東京あおば」下車徒歩5分
(石神井公園駅南口~上井草駅~荻窪駅)
- ・みどりバス「JA東京あおば」下車徒歩5分
(関町ルート 関町福祉園~武蔵関駅南口~上石神井駅~練馬高野台駅~順天堂練馬病院)
- ・西武バス(荻15)「三宝寺池」下車徒歩2分
(長久保~大泉学園駅南口~上井草駅~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.11

平成25年11月25日発行
編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館
住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16
TEL 03-3996-4060 FAX 03-3996-4061
ホームページ <http://www.city.nerima.tokyo.jp/manabu/bunka/furusato/>